

鎌倉市在住・在学の小・中学生の親子30組60人無料招待
(希望者の応募詳細は鎌倉市内小・中学校掲示板、広報かまくらで告知)

反田組

いざ鎌倉

良質な音楽を次世代へ

ラヴェル (松岡あさひ編曲) : 亡き王女のためのパヴァーヌ
ラター : 弦楽のための組曲
ホルスト : セントポール組曲 op.29-2
バルトーク (ウィルナー編曲) : ルーマニア民俗舞曲
ピアソラ (松岡あさひ編曲) : アディオス・ノニーノ
ピアソラ (近藤和明編曲) : リベルタンゴ
レッド・ツェッペリン (松岡あさひ編曲) : 天国への階段
レッド・ツェッペリン (近藤和明編曲) : 移民の歌
ディープ・パープル (近藤和明編曲) : 紫の炎

ヴァイオリン

石田泰尚
佐久間聡一
東亮汰
双紙正哉
村井俊朗
田村昭博

ヴィオラ

木下雄介
古屋聡見
長石篤志

チェロ

西谷牧人
弘田徹
大宮理人

コントラバス

米長幸一

2025年4月29日(火・祝)

14:00開演 (13:30開場)

鎌倉芸術館大ホール (全席指定)

S席 6,000円 A席 5,000円 B席 4,000円

*学生一律 2,000円 (25歳以下、入場時に学生証の提示が必要)

主催 如水会鎌倉・逗葉支部
共催 (公財)鎌倉市芸術文化振興財団
後援 一橋大学/如水会/鎌倉市/鎌倉市教育委員会
協力 北鎌倉湧水ネットワーク/鎌倉エフエム放送

一般販売 2024年12月2日(月)10:00~

チケット取り扱い 鎌倉芸術館チケットセンター
(0120-1192-40 <https://kamakura-kpac.jp/ticket/>)

*発売初日の窓口販売はありません

石田組

石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。
プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、
メンバーは「石田組長」が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に
公演ごとに「組員」が召集される。
レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで多岐にわたる。
2023年から全国ツアーを展開している。

PROFILE

石田泰尚 (ヴァイオリニスト) Yasunao Ishida



神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川県フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未発表賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されるその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。5月～9月にかけてミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を開催。2024年は「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜 第2章」、石田組で日本武道館公演を行った。最新アルバムは2024年4月にリリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

佐久間聡一 (ヴァイオリン) Soichi Sakuma



山形県出身。4才よりヴァイオリンを始め桐朋学園大学へ進む。桐朋学園在学中より新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員を務め、その後、大阪フィルハーモニー交響楽団の2ndヴァイオリン首席奏者となる。2012年3月、大阪フィル退団後にドイツへ渡りハノーファーにてUlf Schneider 教授の下で研鑽を積みほか、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレメンに客演。帰国後は広島交響楽団の第1コンサートマスターを務めた。現在は、ソリスト、室内楽奏者として多彩な活動で活躍の幅を広げている。「第21弦楽四重奏団」「弦楽トリオAXIS」「ピアノトリオMIYABI」「石田組」メンバー、洗足学園音楽大学非常勤講師。近年はYouTubeチャンネル「佐久間聡一のヴァイオリン酒場 サロンフリック」においてヴァイオリンの演奏法や巨匠モノマネを公開中。

東亮汰 (ヴァイオリン) Ryota Higashi



第88回日本音楽コンクール第1位。N響、東響、東フィル、神奈川県、群馬響、大阪響などと共演。Japan National Orchestra コアメンバー、桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK Eテレ「クラシックTV」をはじめメディア出演も多数。NHK Eテレのアニメ「青のオーケストラ」で主人公の演奏を担当。ユニバーサルミュージックと専属契約を結び、メジャーデビューアルバム「Piacere〜ヴァイオリン小品集」をリリース。第16回CDショップ大賞2024クラシック賞を受賞するなど高い評価を受けている。使用楽器は、株式会社文京楽器を通じて匿名のオーナーより貸与されている1831年製 G.F. Pressenda。

双紙正哉 (ヴァイオリン) Masaya Soshi



北九州市出身。桐朋学園大学卒業。篠崎永育、徳永二男、A.アレンコフの各氏に師事。大学在学中より広島交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団のゲストコンサートマスターを務める。95年、東京交響楽団のアシスタント・コンサートマスターに就任。98年退団後はソロ、室内楽を中心に活躍。スリングクワルテットARCOメンバー。2004年北九州市市民文化奨励賞受賞。2005年より東京都交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。

村井俊朗 (ヴァイオリン) Toshiro Murai



堀川高校音楽科分校(現堀川音楽高校)、桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学にて研鑽を積み、帰国後、フリーランス奏者として神奈川県、東京フィル、東京シティフィル、仙台フィルなど、日本の主要オーケストラにて客演コンサートマスターとして出演する一方、室内楽やレコーディングの分野でも活動している。

田村昭博 (ヴァイオリン) Akihiro Tamura



4歳よりヴァイオリンを始める。第45回山口県学生音楽コンクール弦楽器部門第2位(1位なし)。2003年、国立音楽大学ヴァイオリン専攻を卒業。草津国際アカデミーなど数々の音楽祭に参加。2004年に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在、同団第一ヴァイオリン奏者を務める傍ら埼玉県立川越女子高等学校や浦和ユースオーケストラ等にてトレーナーを務める。これまでにヴァイオリンを故石井洋之助、石井志都子、野波健彦、荒井雅至、石井啓一郎、扇谷泰朋の各氏に師事。

木下雄介 (ヴァイオリン) Yusuke Kinoshita



8歳から25歳までの17年間をイギリスで過ごす。マンチェスター・チャータム音楽学校、英国北王立音楽大学を卒業。ハリ・ケイウッド、ウェンジョウ・リ、今井信子、トーマス・リーブル、アネット・イッサーリス各氏に師事。イソラニ・カルテットのメンバーとしてイギリス各地で演奏。2009年第1回メルボルンで開催されたアジア・パシフィック室内楽コンクールにて、セミ・ファイナリスト。2010年ロンドン交響楽団のオーケストラアカデミーでトレーニングを受ける。元大阪フィルハーモニー交響楽団首席ヴァイオリン奏者。第41回神戸灘ライオンズクラブ音楽賞受賞。パトス四重奏団メンバー。水瓶座。B型。犬派。

古屋聡見 (ヴィオラ) Satomi Furuya



桐朋学園音楽学部在学中にN響アカデミーに在籍・修了。ハンス・アイスター音楽大学ベルリンに入学。ベルリンフィルハーモニー管弦楽団を始めとする、ドイツ国内の主要オーケストラにエキストラとして参加する。その後セビリア王立管弦楽団にて副首席として半年間期間契約で在籍。現在は日本フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団等の国内オーケストラでゲスト首席として出演している。江戸純子、岡田伸夫、ヴァルター・キュスターの各氏に師事。

長石篤志 (ヴァイオリン) Atsushi Nagaishi



大分県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。第24回及び第27回大分県音楽コンクールで第1位を受賞。福岡教育大学芸術コース卒業、同大学院卒業。フィレンツェへの留学を機にヴィオラへ転向。フィエゾレ音楽院にてアントネッロ・ファルリに師事する。帰国後は東京に拠点を移し、東京フィル・群馬交響楽団・仙台フィル・日本センチュリー響等オーケストラのゲスト首席として出演。また、幅広いジャンルのレコーディングにも参加。日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。

西谷牧人 (チェロ) Makito Nishiya



東京藝術大学及び大学院を修了後、米国インディアナ大学にて研鑽を積み。これまでに河野文昭、堤剛、ヤノジュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍(～2008年)。2015年、東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者の清水泰明と自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008～2016年東京藝術大学非常勤講師、2008～2019年東京交響楽団首席チェロ奏者を務める。現在は独立し、パッサからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを越えた演奏活動を展開している。2024年4月より愛知県立芸術大学准教授。

弘田徹 (チェロ) Toru Hirota



1997年東京藝術大学卒業。在学中、学内オーディションに合格し芸大フィルと協奏曲を共演。同大学同声会主催による卒業演奏会に出演。同声会賞を受賞。1998年、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団、現在に至る。アウトリーチ活動(墨田区、横浜など)、後進の指導(大学オケ、アルカスSASEBOジュニアオーケストラ)、アーティストのレコーディングやライブサポートにも取り組む。

大宮理人 (チェロ) Yoshito Omiya



平成1年11月1日生まれ。横浜市出身。7歳よりチェロに親しむ。桐朋女子高等学校を卒業後、桐朋学園大学、同大学カレッジディプロマコースを経て公益財団法人東京交響楽団に入団(2014～2019年)。サイトウ・キネン・フェスティバル、室内楽講座、青少年の為のオペラ、小澤征爾音楽塾中国公演などに参加。高嶋ちさ子 with Super Cellistメンバー。現在はフリーランスとしてスタジオでのレコーディング・ライブサポートや、日本の主要オーケストラへの客演、自身のチェロカルテットでの演奏活動もしている。これまでチェロを石橋かほる、毛利伯郎の各氏に、室内楽を毛利伯郎、諸田由里子、東京カルテットの各氏に師事。

米長幸一 (コントラバス) Koichi Yonenaga



10歳よりコントラバスを始め、堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒、研究科修了。在学中に池松宏、ゲーリー・カー、ライナー・ツェベリッツの各氏に指導を受ける。2000年日本演奏家協会コンクール弦楽器の部第1位。2001年より神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者を務める。武蔵野音楽大学講師。

如水会鎌倉・逗葉支部

如水会は、2025年に創立150周年を迎える一橋大学の同窓会で、国内に82支部、世界各国に50支部がある。如水会鎌倉・逗葉支部は国内支部の一つで、2018年に鎌倉支部と逗葉支部が合併した。前身の鎌倉支部は母校の発展と良質な音楽の提供を通じて地域社会の振興に貢献するために石田泰尚が出演するコンサートを7回開催し、収益を母校と財政危機に陥っていた神奈川県フィルハーモニー管弦楽団に寄付する一方、鎌倉芸術祭に参加した。

鎌倉芸術館

〒247-0056
神奈川県鎌倉市大船6-1-2
TEL : 0467-48-5500
(9:00～19:00)
FAX : 0467-48-5600
<https://kamakura-kpac.jp/>
大船駅東口・笠間口より徒歩8分

